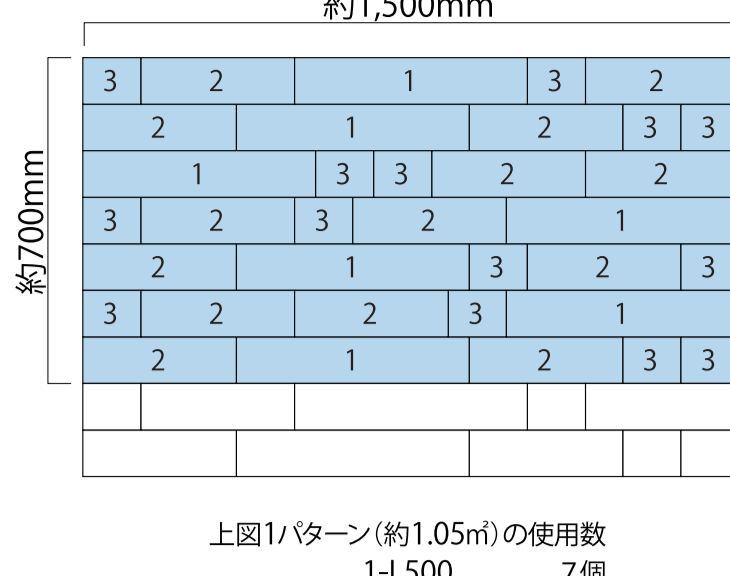


モジュラストーン

特性

●組み合わせ例

サイズバリエーションを活用し、下図の張パターンを参考にさせていただくと、カット加工不要で天然石の趣きを活かした壁面を施工できます。



上図1/パターン(約1.05㎡)の使用数
1-L500 7個
2-L330 14個
3-L125 14個

※販売単位は1箱(L500 4個 L330 8個 L125 8個)です。
上記使用数は目安としてご活用ください。

■ランダム



※天然石らしいランダムな張パターン。
※販売単位は1箱(200角 2個 300×100 4個 200×100 6個 100角 4個)です。
上記使用数は目安としてご活用ください。

乾式接着剤張り

1. 下地の清掃

モルタル下地面は、木ゴテ押さえとし下地精度が2mあたり±2mm以下の誤差に仕上げてください。下地の清掃を行い、十分に乾燥させてください。

2. 割付け

商品の特質上、寸法にバラつきがありますので、商品を確認し割付け、商品寸法の小さなバラつきは目地幅で調整してください。また、サイズが合わない場合には、裏面にダイヤモンドカッターなどで1/3程度切り込みを入れて、裏面から叩いて割るようにしてください。

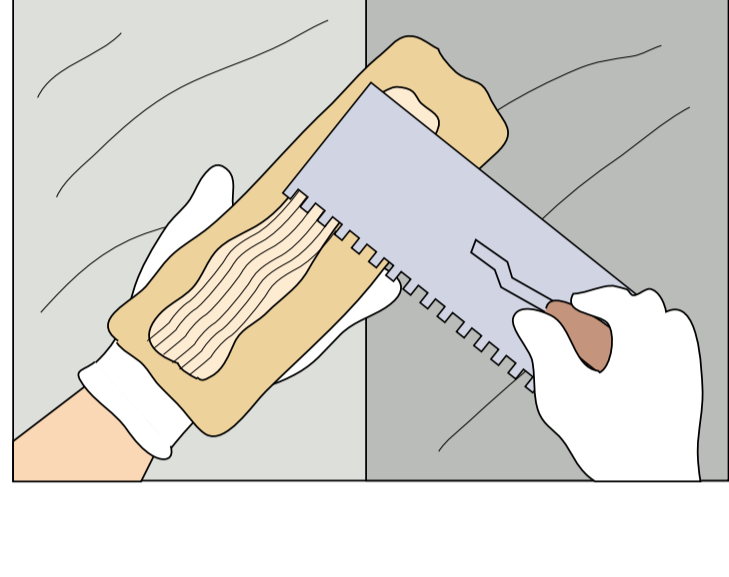
※色幅や形状が同じような形が隣り合わないよう数ケースを混ぜ合わせて仮並べを行い、全体のバランスを見てください。

3. 接着剤の下地への塗布

下地面に弾性接着剤を5mmクシ目ゴテでクシ目を立てて均一に広げてください。

※平ゴテ部で平滑にしないでください。

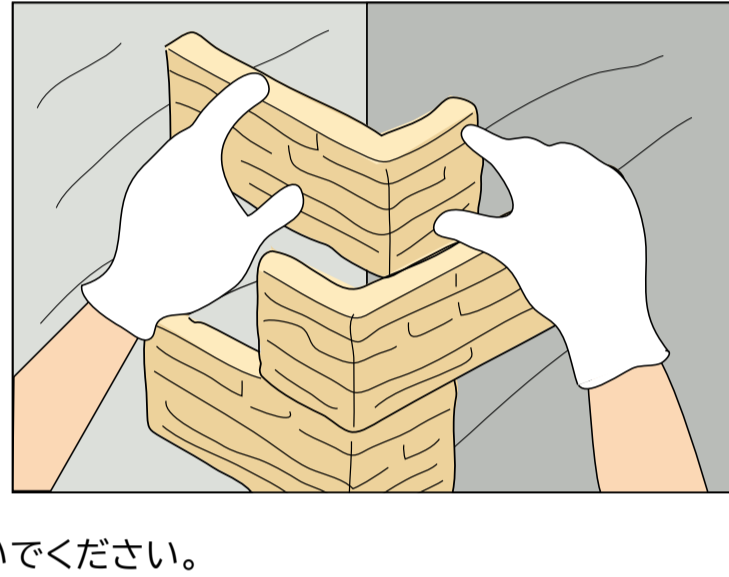
弾性接着剤(ネオピタ#マンテン)は開封後直ちに使用し、張付けは弾性接着剤塗布後40~60分以内に行ってください。



4. 張付け(改良圧着張り工法)

商品裏面の清掃を行い、裏面にも接着剤を塗布し、十分な圧力を加えて、もみ込むように張り付けてください。コーナー部分がある場合はコーナーから張り付け、下段から上段へと施工してください。コーナーについては長い面と短い面がありますので、これらが交互になるように施工してください。

※酸洗いは変色の原因となりますので絶対に行わないでください。



5. 吸水防止処理

屋外に使用した場合は、接着剤の硬化のため雨や水などがからないよう養生を行ってください。

1週間以上養生させた後、吸水防止剤(マクサム)を塗布してください。

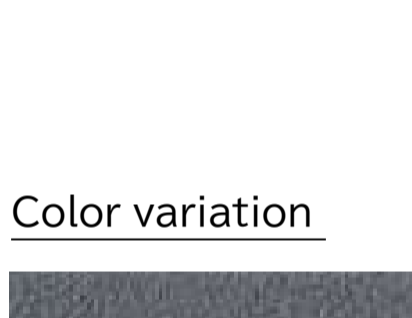
張材用接着剤(弾性1液型接着剤)

ネオピタ#マンテン

〈製造元:(株)大建化学〉

- 変成シリコンエポキシ樹脂を主成分とした弾性接着剤です。
- 弾性接着剤なので、下地に良く馴染み、収縮・膨張による浮き・割れ・剥離を防止します。
- 下塗りのネオピタ#マンテンがモルタル目地代わりとなるため、目地詰めが不要で工期を短縮できます。
- コンクリート、サイディング材などのさまざまな下地に適応し、内装、外装問わず容易に張り施工ができます(詳しくは適用下地をご覧ください)。
- 1液タイプなので混合する手間がかからず、取り扱いが簡単です。
- 健康を損なう可能性がある揮発性有機化合物(VOC)13物質を配合しない「健康住宅適応品」です。

Color variation



グレー



ホワイト
(全色艶消しとなります)



適用下地

- ・コンクリート、モルタル
- ・コンクリートブロック
- ・コンクリートパネル
- ・押出成型セメント板
- ・無塗装サイディング
- ・合板
- ・各種乾式ボード
- ・タイル

使用できない箇所

- ・木造住宅3階建以上(13m以上)の外壁張り
- ・5階建以上の外装張り
- ・2階以上(3m以上)での重量張材(1枚当たり2kg以上)の使用
- ・湿潤面、濡れた下地、水中での施工
- ・塗装面・ポリマーセメント系防水塗膜面
- ・吸水調整剤塗布面・アスファルト下地面
- ・樹脂モルタル下地面・ガラス下地面
- ・フッ素、シリコン樹脂塗布面・エマルジョン系プライマー塗布面
- ・常時80℃以上の高温になる場所(サウナ等)
- ・浴槽内等の常時水に浸漬している場所
- ・常時湿気がある場所(大衆浴場等)
- ・直火の影響を受ける場所(暖炉等)
- ・空気中の酸性濃度が高い場所
- ・床面(硬化後も柔らかいため落下物の衝撃により仕上げ材が割れる恐れがあります。)

施工手順

空目地仕上げ(目地詰めを行わない)施工方法

1. 下地処理

- 下地精度が仕上がりに大きく影響しますので平滑(2mにつき±2mm以下)に仕上げてください。
- ※潤滑面、濡れた下地での施工は避けてください。

- 窯業系無塗装サイディング下地の場合、必ず防水対策用の防水テープにてジョイントしてください。

- 下地面は付着している汚れ(油脂分、ホコリなど)の清掃を行い、整った下地表面状態としてください。

2. 接着剤の塗布

クシ目ゴテのクシ目面にて下地面に5mm塗り付け、ゴテの平らな面を利用して平面になるように仕上げてください(スレーティアに関しては3mm厚で平面になるように仕上げてください。)

3. 張り付け

- ①張り付ける前に張材裏面の清掃を行ってください。

- ②張材裏面に接着剤を塗り付け、改良圧着張り工法で張り付けてください(1枚当り2kg以上の物はズレどめ処理を併用して行ってください)。

※気温5℃以下または35℃以上の所では十分な性能を発揮できませんので、使用は避けてください。

※硬化速度の関係上、張り付けは接着剤塗布後、夏季は30分以内、冬季は60分以内に行ってください。

※約2㎡ごとに張材を一枚剥がし、張材裏面に接着剤が70%以上付着している事を確認してください。

※接着剤の塗布不足は、十分な接着力、弾力性、耐久性が得られず、剥離事故の原因となります。

- ③接着剤と張材が馴染むように十分な圧力を加え、よくもみ込んで張り付けてください。

※張材のズレは張り付け後30分以内に直してください。また、接着剤が張材の表面に付着している場合は、ウエスなどを用いて硬化前に拭き取ってください。

！ 注意点

●使用について

- ・使用した道具は硬化前にシンナー、アルコール、灯油などをウエスなどに濡らして清掃してください。
- ・ジョイントテープ、防水テープ、防水紙は必ずブチルゴム系を使用して施工してください。
- ・アスファルト系のジョイントテープは溶解の危険がありますので絶対に使用しないでください。
- ・本商品は空気中の湿気で硬化するため、非吸水材同士の接着には使用できません。
- ・下地に吸水調整剤を使用しないでください。
- ・作業環境温度が5℃以下または35℃以上の場合や多湿(結露)・降雨・降雪時の施工は避けてください。
- ・直射日光に当たる場合は可使時間・張り付け可能時間が短くなる場合があります。
- ・接着剤を厚塗りした場合、硬化速度が遅くなりますので十分注意してください。
- ・シーリング材は、変成シリコン系を使用してください。
- ・接着剤が張材の表面に付着した場合、ウエスなどを用いて硬化前に拭き取ってください。完全硬化後はシンナーを用いても除去が困難となります。
- ・砂、水、他社品などの異物の混練は絶対に避けてください。
- ・開封後は速やかに使い切ってください。密封状態で保存しても硬化が進行することがあります。
- ・接着剤の塗布量が標準使用量より少ない場合、十分な接着力、弾力性、耐久性が得られず剥離事故などの原因となります。
- ・施工後、紫外線などにより色あせする場合があります。
- ・火気の近くでは使用しないでください。
- ・作業中の換気は十分に行ってください。
- ・吸水率の高いレンガおよび下地は、接着剤中の溶剤が染み込み、臭いがしばらく残ることがあります。

●保管について

- ・直射日光、雨露の当たらない屋内の冷暗所(5~35℃)で貯蔵・保管してください。
- ・使用期間は製造日より1年間です。